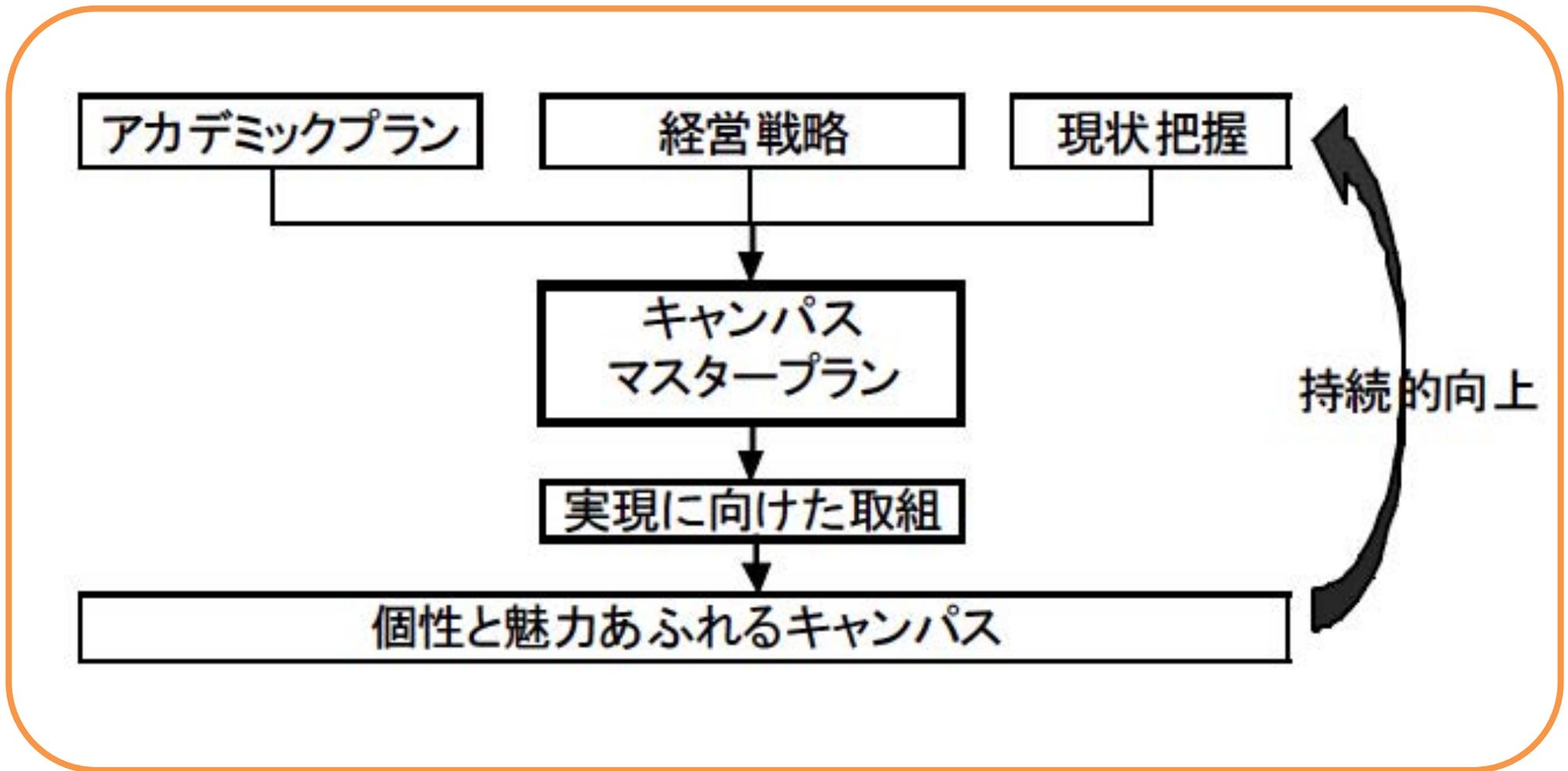


大学キャンパスの創造的再生と施設設計



千葉大学・上野 武

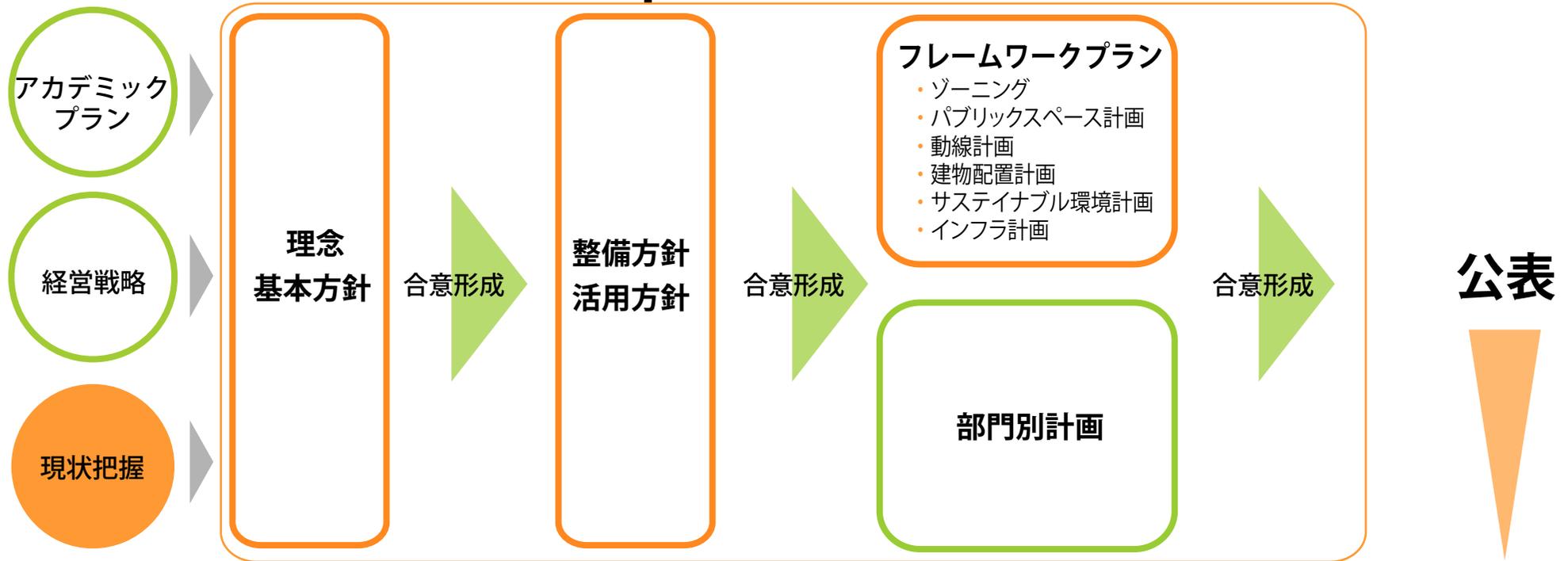
戦略的キャンパスマスタープラン



- 戦略的キャンパスマスタープラン作成の手引き 平成22年3月
- 戦略的キャンパスマスタープラン作成の手引き ～体制とプロセス編～ 平成25年5月

戦略的なキャンパスマスタープランの重要性

Campus Master Plan



ステークホルダーの共通目標

- 大学改革への対応
 - 機能強化
 - 大学教育の質的転換
 - 地域再生の核となる大学
- 社会的要請への対応
 - 防災機能強化
 - 地球環境問題
 - 施設運営の効率化

- 教職員
- 学生
- 地域連携
- 同窓生
- 寄附・基金

～社会に開かれた個性輝く大学キャンパスを目指して～

キャンパスの創造的再生

● キャンパスの質的向上

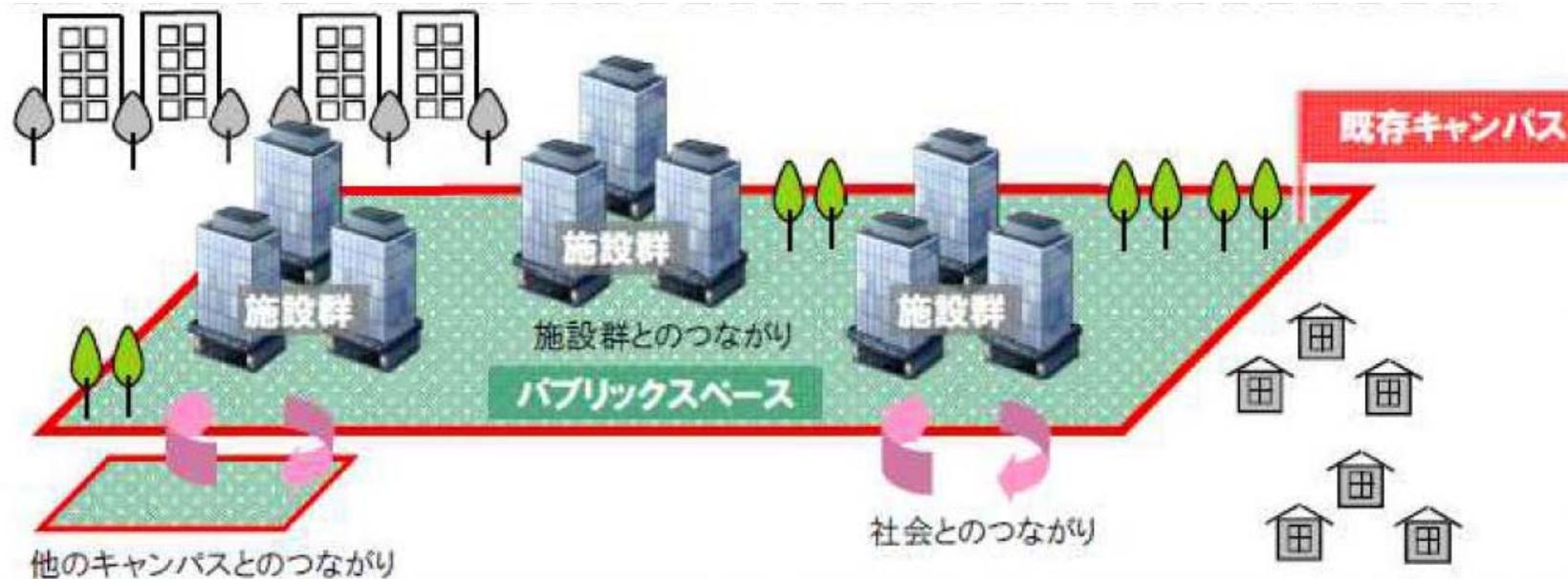
- キャンパスの機能・役割の強化
- 学修支援環境の充実
- 国際競争力の強化
- 安全・安心、持続可能なキャンパス

● 開かれたキャンパスの実現

- 公共性のある空間としての活用
- 地域再生の拠点形成
- 社会のモデルとしての活用

● 既存キャンパスの長所を活かす

● 大学の機能強化、個性・特色の伸張



平成25年3月 国立大学等のキャンパス整備の在り方に関する検討会

キャンパスの創造的再生のための4つのデザイン

戦略
Strategy

- 大学の使命を踏まえた既存キャンパスの再評価

協働
Collaboration

- 学内外関係者との協働の仕組み

工程
Process

- 組織的・段階的に実現するためのプロセス

空間
Space

- キャンパスを特徴付ける空間デザイン

キャンパスづくりの目標

1. 教育研究の活性化

- 質の高い教育研究環境の確保(国際水準)
- パブリックスペースの充実

2. 地域・社会との共生

- 連携拠点の形成
- 景観の形成

3. サステイナブルキャンパスへの転換

4. 安全・安心なキャンパスの確保

なぜ、魅力ある施設設計がなされないか？

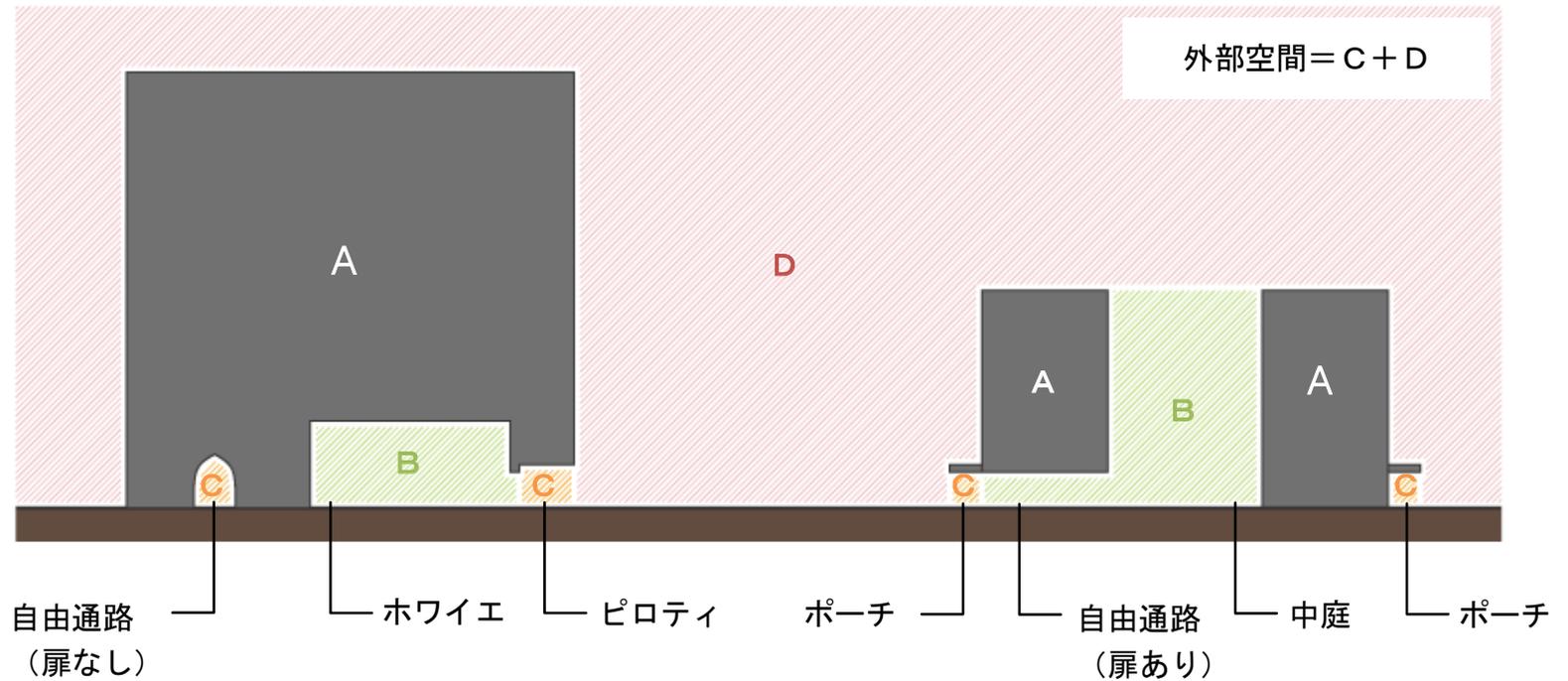
- 安全を確保するための耐震改修が最重要課題であった（耐震＝公共性）
- 私的空間（研究室、実験室等）への要望に応えることが第一であった
- 公的空間（共有スペース等）への、十分な配慮がなされてこなかった



公的空間はキャンパスの基盤（インフラ） キャンパスを都市（まち）のように計画

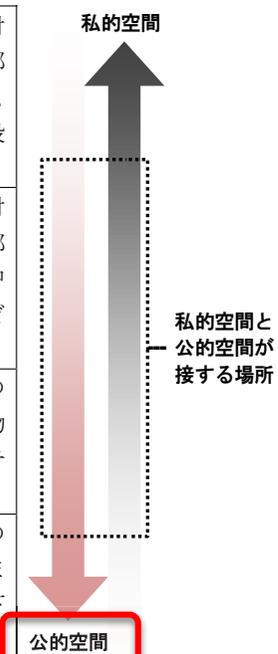
- 美しいキャンパス景観
- 交流・出会いの機会誘発
- 隠れたカリキュラム醸成の場
- 寄附への動機づけ
- 地域資産
- サステイナブル社会の理想的教材

公的空間の定義 (例)



東京大学キャンパス計画要綱

内部空間： 建築物の壁やその他の区画で囲まれた内側の空間。	一般部： 内部空間のうち、外部に対して閉じている空間。外部に開放されていない空間。(教室、居室、廊下、階段など (下図A))
	共用部： 内部空間のうち、外部に対して開いている空間。外部に開放されている空間。(中庭、ロビー、ホワイエなど (下図B))
外部空間： 建築物の壁やその他の区画の外側の空間。	境界部： 外部空間のうち、建築物の雨垂れ線の内側を含む建物外周部。(ピロティ、ポーチなど (下図C))
	一般部： 外部空間のうち、建築物の雨垂れ線の外側の空間。また、建築物の屋上空間。(下図D)



大学施設整備の基本視点(案)

社会教材としての大学施設

1. キャンパスマスタープランとの整合
2. 公的空間(パブリックスペース)の充実
3. 可変性(フレキシビリティ)の確保
4. 環境配慮型建築への転換
5. 安全・安心への配慮

持続可能な大学施設の設計

サステイナブルキャンパス

G8大学サミット

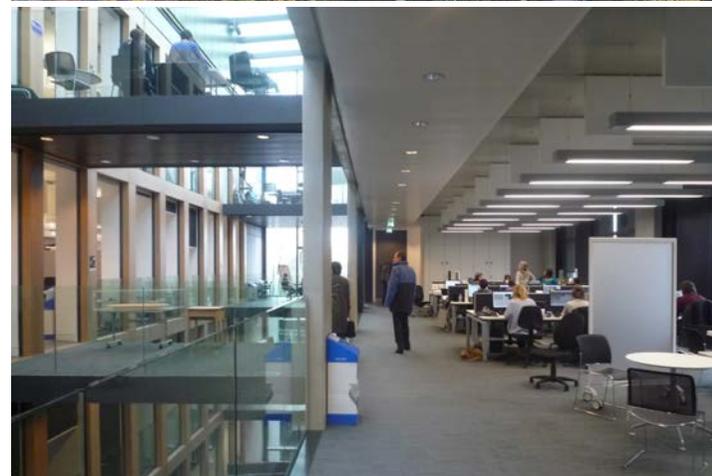
札幌サステイナブル宣言 2008



- サステナビリティの実現において大学が果たし得る役割
- 大学の研究教育プロセスを通じて、**サステイナブルな社会の新しいモデル**として**自らのキャンパスを活用**していくことにある。
- 大学を社会の実験の場にすることは、**将来の社会のサステナビリティ**を担っていく学生たちに必要なスキルや行動様式を育む。
- **キャンパスは実験の場**であると同時に**教育の理想的な教材**。
- 大学はサステイナブルキャンパス等の活動を通して**次世代の社会づくりに貢献**することができる。

出典：札幌サステイナブル宣言 <http://g8u-summit.jp/ssd/index.html>

海外参考事例





古い建物の中庭に大屋根を架けワークスペースを生み出す



古い建物に並行して吹抜を介した新棟を増築



右側が既存棟



建物1階部分を公的空間（学生の居場所）として開放

